

JA全農えひめ情報

みらいへど

2021

2 - Mar.
Feb. 3



特集

令和2年度 JAグループ愛媛担い手
サポートセンターの取り組みについて



▲みかん電車内



▲みかん電車の外観



▲「愛媛のみかんはいろいろあるなあ」



▲吊り革の文字に思わずくぎづけ

みかん電車

(松山市)

たくさんの実が成るオレンジの樹は「繁栄」や「多産」の象徴、花言葉は「純潔」や「花嫁の心」「寛大」です。欧米では男性がオレンジを持ってプロポーズをしたり、花嫁がオレンジブーケを身につけたりと、オレンジはとてもハッピーな「愛のシンボル」なのです。

J A全農えひめは、2009年から「バレンタインデー」「ホワイトデー」に続くカプルの記念日として、愛媛発祥の4月14日「オレンジデー」を提唱し、柑橘類を贈りあう愛の記念日として定着させようと取り組みを行っています。冬の風物詩・みかんが生まれる頃、11月3日と12月3日を「いいみかん」の日としてスタート。1月14日「いい予感」伊予柑の日、2月14日「愛を届けるバレンタインデー」、3月14日「愛に応えるホワイトデー」、そして「愛のシンボル」オレンジを贈って愛を深める4月14日「オレンジデー」までストーリー性を持たせた「愛のオレンジロード」が続きます。

12年目の2021年1月、みかん色をした「みかん電車」の運行を始めました。路面電車1台のみかんのつり革やポスターで飾りつけ、松山市駅前のビジョンでは思わず口ずさみたくなる「愛媛かんきつPRソング」を放映しています。運行期間は1〜4月、各月とも8〜14日の1週間。松山市駅一道後間またはJR松山駅一道後間の運行です。果実課は「県内の方、旅行客の目に触れることで、少しでも多くの人に愛媛県産柑橘を知っていただければ」と効果を期待しています。愛があふれる柑橘王国愛媛のステキな電車を降りる頃、きつとおいしいみかんが食べたくなっていることでしょう。

めぐり〜ど

2021年2-3月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



果物なのに皮をむかなくていいんです、口に
残る大きなタネもないんです。真っ赤でかわい
く、さっと洗えばそのままポンと一口サイズで、
はい！ぱくり。甘く、おいしく、ビタミンCも
たっぷり、いいことづくめで、パースデーケー
キやクリスマスケーキとの相性バツグン。和菓
子部門ではアンコと仲睦まじく、イチゴ大福を
不動の地位へと押し上げました。イチゴ快進撃、
継続中です。

●表紙：イチゴ
はら ふみ（イラストレーター）

※『めぐり〜ど』は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつににする (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.220

みかん電車

2

〈特集〉

令和2年度 JAグループ愛媛担い手
サポートセンターの取り組みについて

4

ふるさと ESSAY VOL.288

木の無限なるイマジネーション
〜「木」は口ほどにものを言い〜

酒井 久夫さん

6

TOPIC NEWS

12

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 **イチゴ**

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>



- お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！
- JA全農えひめ「えひめの食」企画
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆(株)えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>
- ◆JAえひめアイパックス(株)
<http://ai-pax.jp/>
- ◆JAえひめフレッシュフーズ(株)
<http://fresh-ranran.jp/>
- ◆(株)ひめライス
<http://www.himerice.jp/>
- ◆JAえひめエネルギー(株)
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>
- ◆JAえひめ物流(株)
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

令和2年度 JAグループ愛媛担い手サポートセンターの取り組みについて

JAグループ愛媛担い手サポートセンターとは

JAグループ愛媛担い手サポートセンターは、愛媛県内の中央会と連合会が連携し平成28年に設置されました。農業現場への一体的な支援体制の構築を目的に、「農業者の所得向上」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けたJAグループ愛媛営農・経済改革実践運動を展開し、担い手育成・JA総合事業を通じた事業支援のサポートや愛媛農業の振興を図っています。

また、平成30年4月から県域担い手対策機能の強化に向けJA全農えひめ営農食糧部営農支援課

(担い手サポートセンター)へ愛媛県の職員を受け入れ、一体的な担い手推進体制を構築し、効果的かつ着実な対策に取り組んでいきます。併せて、JA全農えひめから愛媛県の農地・担い手対策室へ職員を派遣し、担い手への推進方策を研修するなど、将来を見据えた推進体制づくりに取り組んでいます。

令和2年度の取り組みについて

1. 就農相談会の実施

愛媛県の魅力を発信し愛媛での就農に繋げるため、(株)マイナビEST内で「愛媛特集」とした就

農相談会を開催しました。また、ふるさと回帰支援センターと連携し、移住・就農相談を実施。相談対応は新型コロナウイルス感染拡大の影響により現地開催が困難なため、ZOOM等を活用したオンライン開催としました。

今後新型コロナウイルス感染防止対策の観点から同様なオンライン開催が想定されるため、参加者に熱意と創意工夫が伝わるようなコンテンツを提供し、愛媛の魅力を発信していきたいと考えています。

け、人材派遣会社等との連携や農福連携を活用した人材確保に取り組んでいます。

○みかん収穫アルバイトの確保

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各産地において県外からの労働力不足が懸念されるなか、今年度の柑橘産地の労働力確保については県内からの確保に主力を置いた取り組みとなりました。JAグループ愛媛担い手サポートセンターでは人材派遣会社と連携して、JAにしようわ、JAえひめ中央のみかん収穫アルバイトを全体で182人確保しました(詳細は後述の通り)。また、対応したJAでは、参加者のPCR検査実施や、過密を避けた十分な宿泊施設の確保等、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで労働力派遣を行いました。

2. 労働力支援

不足する農業労働力の確保に向

○農福連携の取り組み

JAグループ愛媛担い手サポートセンターは、関係機関と連携し、

枝豆の播種・収穫やブルーベリーの収穫などについて、就労支援施設の利用者と農業現場をマッチングさせる農福連携の取り組みを行いました。この取り組みは、障害者などの社会参画や自立を支援するとともに、農業現場の労働力支援を図る目的で実施しています。

この取り組みにより、障害者等が農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画ができることにつながると期待しています。

今後も深刻な労働力不足が懸念されるため、人材派遣会社・農福連携と併せて観光業等の農業分野以外からの労働力を確保したいと考えています。「農業者・現場のニーズに応じた労働力のマッチング」をすすめる、労働力不足の解消に向けた取り組みを強化していきます。

〈就農・移住相談、セミナー等 実施状況〉

内 容	実施月・実施状況
えひめオンライン就農相談	7月（4回）
相談件数	5件
愛あるえひめ暮らしフェア	7月（1回）、8月（2回）、9月（1回）、11月（4回）、12月（3回）
相談件数	11件
マイナビ就農FEST	8月（1回）、12月（1回）
相談件数	4件
参加件数	35件
えひめで始める農業セミナー	9月（1回）
参加件数	10件
就農体験ツアー （中島・大洲から産地の魅力紹介）	1月（1回）
参加件数	11件

※愛あるえひめ暮らしフェア：1月（2回）・2月（2回）・3月（1回）
マイナビ就農FEST：2月（1回）開催予定

〈みかん収穫アルバイト確保の取り組み〉

- 説明会：9月10日（木）～10月21日（水）までの期間で計12回実施
- 説明会参加者：合計212人
- アルバイト登録者：JAにしうわ 166人（当初目標100人）
JAえひめ中央 16人（当初目標10人）

- JAグループ愛媛担い手サポートセンターとして、みかん収穫アルバイトに臨む心構えやポイントなど、実例を織り交ぜ解説した。
- 「タウン情報まつやま」等への積極的な告知とマスコミ等の紹介効果もあり、学生を中心に多くの参加を得た。





木の無限なるイマジネーション 「木」は口ほどにものを言います

建築業を生業としている私が、遊びゴコロから出品したギャラリーしろかわの「全国『かまぼこ板の絵』展覧会」をきっかけに、木工作品の個展を開くという、思わぬ展開となったのは前号までに記したとおりですが、5年程前にさらに新たな転機が訪れます。

ギャラリーしろかわでの3度目の作品展を見た西予市商工会の指導員さんが、この技術は商売として成り立つのではないかと、県の農商工連携助成事業に応募するように熱心に勧めてくださったのです。

ちょうど京都での大工修業に一区切りつけた息子が、帰郷して私の右腕となり働きはじめた頃。私の中では引退後、または副業としても成り立っていないのではないかと考え、前向きに話を進めていきました。

西予市商工会をはじめ関係者の皆様の全面的なバックアップのもと、先の

県の事業に採択されました。城川地域の木材と愛媛産の真珠を使った雑貨など約50点。全国約2,500社が出席する東京ビッグサイトの見本市「第79回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2015」への出品です。今まで独りよがりで作っていたものから、売れるものへの商品開発は現在もなお頭を悩ませる難題ですが、それでも展示会は盛況で、定期的に注文を受ける木工品が少しずつ増えていきました。

やがて息子が結婚をして孫が生まれ、これからは孫のおもちゃ作りを、と楽しみに考えていた矢先に息子から相談を受けます。「宮大工の仕事の話があり、今しか出来ないので行かせてほしい」。

酒井 久夫

HISAO SAKAI

■プロフィール■

1959年（昭和34年）12月20日生まれ。西予市明浜町出身、在住。県立吉田高等学校建築科卒業。21歳で酒井建設代表となる。生まれてこの方、一歩も明浜町を出ていない「井の中の蛙」を自負する一級建築士の町の大工さん。
24歳、結婚と同時に「おれんち惣妻組合」理事長を名乗る。
26歳、長男誕生を機に、おもちゃ作りから木工を始める。
40歳、ギャラリーしろかわ（西予市城川町）で初個展開催。木工品制作の「酒井建設夜間部・月火酔木堂」（一週間のうち金と日がないことから、貧乏暇なしの意）開設。以後、八水ギャラリー（八幡浜市）、池田屋（西予市宇和町）、ぎやらりい風早（今治市）、おおず赤煉瓦館（大洲市）、ギャラリー喫茶こけむしろ（西予市宇和町）、よんでん和み館（西予市宇和町）等、展覧会多数開催。
57歳、かりえ笑学校（旧西予市立狩江小学校）にて、木工品の企画・制作・展示室「木づかい工房」開設。本業に支障をきたさないよう、制作は主に夜間。酒井さん流の遊び心が加わった木のぬくもりが感じられるオリジナルの木工品は、「感心をされるより、笑って和んでもらいたい」と、駄洒落やウイットに富んだタイトルがついている。



▲「全国『かまぼこ板の絵』展覧会」

愛媛新聞社賞を受賞した「朝食セット」で、食パンは一斤を35枚の板で作りスライスするなど、すべてかまぼこ板で作り着色している。完成度の高さと、目の不自由な人のための立体作品が受賞の理由



▲最愛のお孫さんと。木のマスク、志村けんさんの名をかたどった「しむらけん玉」で、コロナ禍に一石を投じる

本人は辛くて厳しい選択と分かっています。私には将来に関わる大事な決断を下す息子を二つ返事で送り出しました。現在、私の父も修業したことがある九州で宮大工として腕を磨いています。地元にいると一生関わることはないであろう大宝塔建設の担当を任され休日返上で苦慮していますが、ありがたいことに、どこに行っても先輩や友達に恵まれ助けられているように安心して見守っています。やりの

ある仕事なのでずっと九州にいるかもしれない。

そうなる、私の引退予定も先送りとなり、木工品づくりに専念することは実現できそうありません。一方で、こんなものは出来ないかとの木工品のオーダーは増えています。本業をこなしながらのアイデアは、夜が明ける頃夢の中で浮かんでくるようになりました。ただ、「それを形にする時間が無い！」と嘆く私の傍で、「時間の使い方や優先順序のつけ方が悪い!!」と、いつも妻には言い訳を見透かされ、言い負かされています。そんな現状ですが、「酒井建設夜間部 月火酔木堂」での夜なべ作業は続けていきたいと思っています。

そんな中、この度初めて松山で作品展の予定をいただきました。コロナ禍で、詳細は決まっていますが、さほど遠くないうちに松山で実際の作品群に会っていただき、笑い、晴れやかな気持ちになっただけであるうことを私も楽しみにしています。

これからもなんとか新作も作ってきたいし、本業の「町の大工さん」との二足の草鞋で、擦り切れるまで走り回りたいと思っています。

令和2年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」 農林水産大臣賞に谷口貴さんと(有)菊間仙高牧場



大臣賞を受賞した谷口さん(左)と菊間仙高牧場(右)

大洲市のJAえひめアイパックス(株)本社工場で、12月5日、令和2年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」の審査・表彰式が行われました。共進会は、県畜産協会が主催。農林水産大臣賞(優等賞首席)には、肉牛(黒毛和種)の部で谷口貴さん(JAえひめ南)、肉豚の部で(有)菊間仙高牧場(JAおち



肉牛セリの様子

いまばり)が選ばれました。

肉牛の部(黒毛和種)は33頭、交雑種・乳用種の部は10頭が出品されました。肉牛の部では全体的に優れた枝肉が多数出品されており、歩留まりも高く、脂肪付着も良好で、A5等級が全体の84.8%と非常に高レベルな共進会となりました。

大臣賞受賞の谷口さんは、二兀々

の牛の能力が高く、それを活かすような管理を心掛けた」と語りました。

肉豚の部では、全体的に体型が良く脂肪付着は適度なもので、等級極上率は8.9%と、前年と比べて5.7%増加し、大変良好な成績となりました。

昨年度に引き続き大臣賞を受賞した(有)菊間仙高牧場の森田恭章社長は、「安全・安心でおいしい豚肉づくりに努めていきます」と受賞に笑顔を見せました。

共進会終了後には、購買者29社が参加してJA全農えひめ主催の肉牛のセリを実施。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、会場への入室を購買者のみに限定し、生産者はセリの様子を別室においてリモート配信で視聴しました。

1kg単価は谷口さんの出品牛が、5,010円(購買者〓(株)篠崎畜産精肉直売店)。黒毛和種の平均単価は3,240円と高値で

取引されました。

なお、共進会では、県畜産功勞知事表彰として、茎田常秋さんから3人が表彰されました。

その他の受賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ内はJA名)。

- 【肉牛の部】◆優等賞▽次席〓高橋節雄(周桑)▽3席〓堀内誠(ひがしうわ)▽4席〓池田一成(えひめ南)▽5席〓土居利行(ひがしうわ)◆1等賞▽首席〓井上治宣(ひがしうわ)▽次席〓氏原清時(えひめ南)▽3席〓小池智喜(おちいまばり)▽4席〓山田明(えひめ南)▽5席〓山下祥雄(えひめ中央)
- 【肉豚の部】◆優等賞次席〓伊予スワインガーデン(JA西日本くみあい飼料(株))
- 【交雑種・乳用種の部】◆優等賞〓関平畜産(有)(ひがしうわ)
- 【愛媛県畜産功勞知事表彰】(カッコ内は市町)▽茎田常秋(西条市)▽井関吉博(西予市)▽亀井広一(久万高原町)

📷がんばれ受験生！『愛媛いよかん』＝いい予感
湯島天神で合格祈願「愛媛いよかん」2,000個配布

JA全農えひめ果実課は、愛媛県が全国生産量の約9割を占める伊予柑をPRしようと、1月9日、東京都文京区の湯島天神の境内で、合格祈願のお祓いを受けた「愛媛いよかん」を参拝者2,000人に無料配布しました。

この取り組みは、「がんばれ受

験生！『愛媛いよかん』＝いい予感」をコンセプトに、合格の縁起物として毎年実施しており、今回で36回目。受験シーズンの恒例行事になっており、合格祈願で参拝する受験生や家族に合格の縁起物として喜ばれています。

今年は、新型コロナの感染拡大



「いい予感があたりますように」と配布

が、マスクを着用し、参拝客と距離を取るなど感染防止対策を取りながら実施しました。境内に「合格まで風邪をひかずに頑張ろう。愛媛いよかん＝いい予感」の天幕を掲げ、SPレディが、お祓いを受けた伊予柑とメッセージの入った袋を前に、参拝される受験生やその家族に「いい予感が当たりますように」「縁起のよい伊予柑です」と声をかける

と、参拝者は嬉しそうに持ち帰っていました。果実課は、「愛媛いよかん＝いい予感」をキャッチフレーズに、学業や恋愛成就等の縁起物としても伊予柑の購入・消費拡大を呼びかけています。

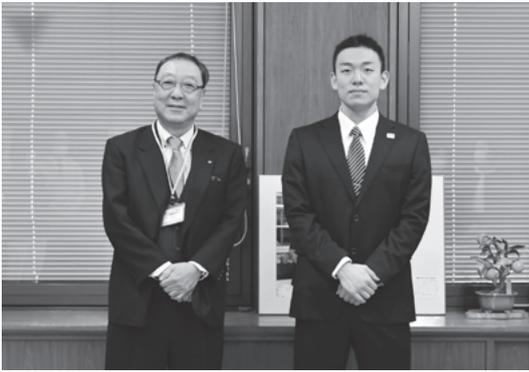


受験生へのメッセージも添えています

📷東京パラ水泳山口選手が(株)えひめ飲料を訪問 ポンジュースを飲んで金メダルを

(株)えひめ飲料は、今治市出身で東京パラリンピック水泳の代表選手である山口尚秀選手にポンジュースの協賛を行ったことから、1月4日に山口選手の訪問を受けました。

ポンジュースの協賛は令和元年11月から令和2年10月にかけて実施。山口選手が愛飲しているポンジュースを2か月毎に提供しました。



(右から) 山口選手、山本社長

山口選手は、令和元年度に開催された世界選手権1000m平泳ぎ(知的障害)で優勝し、東京パラリンピック代表に内定しています。また、昨年11月の秋季記録会では自身を持つ世界記録を塗り替える1分4秒13を記録し、東京パラリンピックでの活躍が期待されている選手です。

山口選手は、「ポンジュースでしっかりビタミンを取り、コンディションを整えていきたい」とパラリンピックに向けた抱負を語りました。

(株)えひめ飲料の山本卓治社長は、「是非メダルを持ち帰られることを期待しています。また、我々もできる限りの応援をさせていただきたい」と山口選手を激励しました。

📷ひめライス「えひめ応援キャンペーン」の抽選会 ひめライスえひめ応援キャンペーン 500人当選者決まる



(株)ひめライスは、1月12日、松

前町の本社で、伊予牛「絹の味」や「ふれ愛・媛ポーク」などが当たるひめライス「えひめ応援キャンペーン」の抽選会を行い、松田一人社長らが、約20,000通の応募の中から当選者500人を選びました。

同キャンペーンは、コロナ禍においても、お家でお米を食べるこ

とで愛媛を元気にしようと、11月2日から12月31日で実施。期間中はテレビCMやリーフレットを通じて、愛媛県産新米のおいしさをアピールしたほか、量販店で「ひめの凜」をはじめとした県内産の新米コーナーの設置(46店舗)などに取り組みました。応募ハガキには、「コロナ禍という時勢の中、愛媛県産の食品を応援するキャンペーンはうれしい」「冷めてもおいしい『ひめライス』。朝から晩まで食卓を彩ってくれている」などの声が寄せられました。

同社のキャンペーン期間中の精米売上数量は前年比99・1%。新型コロナウイルス感染拡大で業務用需要が低迷する中においても、キャンペーンを実施することで前年と同等の販売数量を確保することができました。今後もテレビCM放映等を通じて県内産米のPRと販売拡大を目指します。

📷 オンライン就農体験ツアー開催

農業現場から生の情報を発信

J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会は、1月23日に「オンライン就農体験ツアー2021」を実施しました。

この取り組みは、より多くの新規就農者を確保し、地域の生産基盤強化につなげることを目的に実施し、東京、大阪等から11人が参加。新型コロナウイルス感染拡大



オンラインで園地の様子を紹介

防止の観点からオンラインで実施しました。

当日は松山市中島の柑橘園地と大洲市のいちご園地の2か所から配信し、実際に県外から移住・就農した生産者の体験談や農作業の実演、産地と就農希望者との意見交換等を行いました。また、ツアーに合わせて参加者には「甘平」(5kg)と「いちご」(1kg)を送り、現地の農産物の味を体験してもらいました。

J A全農えひめ営農支援課は、「遠方でも気軽に参加できるオンラインというツールを最大限活用し、現地の声を届けることができ、今後も臨場感のある配信で県内の新規就農者の確保につなげていきたい」と意気込みを語っています。

📷 三次救急医療機関に温州みかん贈呈

県産柑橘で医療関係者を応援



菅院長（中央左）に温州みかんを贈呈

J A全農えひめは、コロナ禍により、厳しい環境で医療を支えている医療関係者を応援しようと、県内の三次救急医療機関（県立新居浜病院、愛媛大学医学部附属病院、県立中央病院、市立宇和島病院）に対して、県産温州みかんを合計1,000kg（10kg×100箱）贈呈しました。

12月22日には県立中央病院で贈呈式を行い、関岡昭県本部長が「コロナ禍の中で、我々の命と健康を守っていただき、ありがとうございます。お渡ししたみかんが、ホッとできるひと時につながれば」と医療関係者を激励しました。県立中央病院の菅政治院長は「職員の疲れは例年以上に出ていますが、いただいたみかんで少しでもリラックスできれば」と感謝を述べました。

なお、12月23日に宇和島市役所でも贈呈式を開催し、市立宇和島病院に温州みかんを贈呈しました。

第43回えひめみかん祭り

県内各地の柑橘30種類以上を一堂に集め 愛媛産柑橘の魅力をもPR!



「果実コンクール」入賞果実等を展示

止とし、1月22日に開催した「果実コンクール」出品果実や最近の人気品種・珍しい品種、「ほ場コンクール」優秀園地のパネル等の展示を行いました。

また、今回は「果実コンクール」に持ち寄られた果実10kg 83箱を、愛媛県社会福祉協議会に贈呈。オープニングセレモニー内で贈呈式を実施しました。

愛媛県果樹同志会、愛媛県、JA全農えひめなどは、1月23日と24日の2日間、松山市のいよてつ高島屋8階特設会場で、「第43回えひめみかん祭り」を開催しました。愛媛県産柑橘のPR・消費拡大と果樹農業の振興を図ろうと毎年開催しているイベント。今年には新型コロナウイルス感染症対策として、例年実施している柑橘の販売ならびにステージイベントは中



社会福祉協議会に目録贈呈

第43回えひめみかん祭り果実・ほ場コンクール

農林水産大臣賞に石田英久さん（果実）と 亀田信一さん（ほ場）

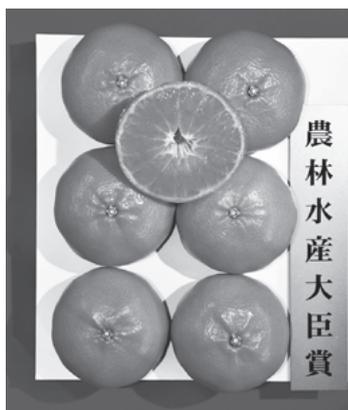
愛媛産柑橘の品質向上と果樹農家の生産意欲の高揚に向けて行われた「第43回えひめみかん祭り」果実・ほ場コンクールの結果が、1月23日、「えひめみかん祭り」会場で発表されました。農林水産大臣賞（優秀賞）には果実が石田英久さん（JAえひめ中央）の「せとか」、ほ場では亀田信一さん（JAえひめ中央）の「せとか（施設）」の園地が選ばれました。

コンクール入賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内は品種名・JA名）。表彰式は、3月22日開催の愛媛県果樹同志会大会で行われます。

【果実コンクール】

▽**優等賞**Ⅱ 二宮喜信（南柑20号・えひめ南）、西山聡（甘平・えひめ中央）、岡宮寿（愛媛果試第28号・同）、大野陽一（宮内伊予柑・同）、能田英文（不知火・同）、槐信行（太田ボンカン・えひめ南）、玉井真吾（甘平・にしうわ）、吉岡勝利（久能温州・えひめ中央）

▽**優良賞**Ⅱ 青木聡（せとか・えひめ中央）、景浦雅史（はれひめ・おちいまばり）、石丸孝義（宮内伊予柑・えひめ中央）、九重喜美江（清見・にしうわ）、青井秀典（不知火・えひめ中央）、別府英治（太田ボンカン・おちいまばり）、三好



農林水産大臣賞を受賞した石田さんの「せとか」

一也（愛媛果試第28号・えひめ中央）、谷原満樹（石地温州・おちいまばり）、稲田壘（河内晩柑・えひめ南）、菊池博和（はるみ・にしうわ）、村上晋太郎（宮内伊予柑・おちいまばり）、坂本和久（不知火・えひめ中央）、岡部弘樹（甘平・えひめ中央）、菊池加偉（太田ボンカン・にしうわ）、山岡篤（せとか・えひめ中央）、河原田忠雄（菊間中生・おちいまばり）、丸井幸造（不知火・愛媛たいき）、横山博（天草・えひめ中央）、渡部憲明（宮内伊予柑・おちいまばり）、島田篤志（普通八朔・おちいまばり）

【ほ場コンクール】

▽**優等賞**Ⅱ 高平和豊（河内晩柑・えひめ南）、林諭（せとか・えひめ中央）

▽**優良賞**Ⅱ 吉本浩明（愛媛果試第28号（施設）・えひめ中央）、楠本安政（南柑20号、にしうわ）

📷 J A全農えひめと県内報道機関との意見交換会

J A全農の認知度向上へ

J A全農えひめは12月16日、松山市のJ A愛媛で、J A全農およびJ A全農えひめの活動や自己改革の取り組みについての理解につなげようと、県内報道機関と意見交換会を開きました。会議では、J A全農経営管理委員会の菅野幸雄会長が、リモートで今後の全農の取り組みや新型コロナウイルスへの対応等を報告。また、J A全農えひめからは、県本部の事業や広報の取り組みを紹介しました。関岡光昭県本部長は「組合員・農家のために我々も情報発信力を高めていきたい。地元メディアの皆様も愛媛県産農畜産物のPRにご協力をお願いします」と話しました。

報道機関からは、新型コロナウイルスの影響やJ A全農えひめにおけるeコマースの取り組み、愛媛県における組合員数増減についてなどの質問がありました。

今後もJ A全農えひめは、県内報道機関と連携をとりながら、全農の認知度向上や理解促進、地元農畜産物のPRを目的に、対外広報に力を入れていきます。

📷 社会福祉協議会贈呈式

県内15の児童福祉施設に、もち米とジュースを提供

J A全農えひめは、愛媛県社会福祉協議会を通じて県内15の児童福祉施設に、「ひめライス」のもち米620kgと「POM愛媛ぼんかん」「POMアシタノカラダみかんジュース」などジュース111ケースを贈りました。

松山市のJ A愛媛で12月9日に行った贈呈式では、関岡光昭県本部長が同協議会の杉野洋介常務理事に目録を手渡し、同協議会からJ A全農えひめに感謝状が贈られました。

この取り組みは、社会貢献活動の一環として、県内児童福祉施設の子どもたちが明るいお正月を迎えられるように昭和59年から毎年実施しており、今回で37回目です。



関岡県本部長（左）と杉野常務（右）

📷 成約実績目標を達成

J A石碑大展示予約会を開催



J A全農えひめと県内J Aは、12月4日から6日までの3日間、(株)イフイ本社（松山市石手寺前）をはじめ、四国中央店・西条店・今治営業所・大洲店・宇和島店の県内6か所の特設展示場で、J A組合員限定の「J A石碑大展示予約会」を開催しました。

会場には、良質で厳選された愛媛の銘石「大島石」など各種石碑を豊富に取り揃え、墓石の完成時の形がイメージできるような納骨舞台を含めたセット墓から小物まで大量に展示。期間中多くの方が来場し、目標を上回る1億円以上の成約実績をあげました。

📷 集落営農法人化研修会

集落営農法人の取り組みや課題を共有

J A全農えひめは12月11日、松山市男女共同参画推進センターで「集落営農法人化研修会」を開催しました。

この研修会は、集落営農の促進や新規就農者の確保・定着を図ることを目的に実施。J Aや県・市・町の担当者ら33名が参加しました。

研修会では、J A愛媛中央会による農業情勢報告や、山口県萩市の7つの集落営農法人が合同で立ち上げた萩アグリ株式会社による取り組み事例報告が行われ、集落営農法人間連携の取り組みや課題の共有を図りました。

営農支援課は、「農地保全や地域の担い手確保に向け集落営農組織化・法人化を推進する」と集落営農法人に対する取り組みの展望を語りました。



『愛媛かんきつ部』結成!』を読んで。ティモンディのお二人は明るく前向きで、愛媛県産柑橘のPRには適任だと思います。TVやyoutubeなどで元気をもらっています。大ファンのお二人が愛媛県産柑橘のPRをしてくださってとてもうれしいです。

(宇和島市・PN: てんちゃんさん)

全国的にも知名度の高いティモンディのお二人に愛媛の柑橘をPRしていただくことで、愛媛県産柑橘のさらなる知名度につながると思います。今後も是非ご注目ください!

今年、いただき物で紅まどんなを初めて食べました。皮が薄く、くし形に切って食べましたが、ゼリーのように甘くおいしかったです。なかなか高級品ですが、愛媛の紅まどんなを県外の人にも食べてほしいです。

(西条市・PN: タカさん)

今年は紅まどんながtwitterのトレンド入りを果たし、全国的な知名度も少しは上がったのではないかと思います。

より多くの人に紅まどんなを知ってもらえるように、我々も情報発信を頑張っていきます!

学生がデザインした段ボールを製作したのはよいアイデアだと思います。若い人たちが愛媛の柑橘を宣伝普及して、愛媛の産業をしっかり受け継いでほしいものです。コロナ禍にみか

ん等を全国に届けて、元気をもらえれば。(四国中央市・PN: T・Nさん)

学生さんがフレッシュな発想でデザインした今回の段ボール、カラフルでとてもきれいでした。コンセプトである「ワクワクするようなデザイン」のとおり、全国の消費者にワクワク感を届けていきたいです。

エッセイを読んで。モッコウグジラの歯や杖の足先など、本当に素晴らしい技術に感動して言葉が出ませんでした。この目で作品を拝見したい気持ちでいっぱいでした。

(今治市: 阿部徳子さん)

作品クオリティもさることながら、「モッコウグジラ」や「転んだ後の杖」など、作品タイトルも非常に秀逸ですね。酒井久夫さんのエッセイは本号の第3回で最後となります。素敵な作品や体験談等をご紹介いただきありがとうございます!

『はだか麦』の良さを消費者にPR』を読んで。33年も生産量日本一なんですね。柑橘同様にPRして、今後益々消費量が増えていくといいなと思いました。農協グリルさんでははだか麦ごはんを提供しているとのことなので寄る機会があれば利用してみたいと思います。(今治市・PN: 三十三さん)

愛媛県産はだか麦は、現在いろいろな商品を開発中ですので続報があれば「あぐ

り〜ど」やホームページ等で紹介していきたいと思います。今後も是非注視いただければ幸いです。

今月の素材は里芋「伊予美人」でしたが、いもたき以外にもいろいろな食べ方があるんだと感心しました。早速今晚試してみます。

(四国中央市・PN: みかんさん)

私の実家も里芋といえばほとんどいもたきでしたので、お寿司やすり流しなど、とても新鮮でした。すり流しは自分でも挑戦してみたいです。

お知らせ

読者名簿更新について

J A 全農えひめ情報誌「あぐり〜ど」は、愛媛県内 J A の役員(非常勤理事・監事含む)・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

今回皆様からいただいた応募はがきを見て、ティモンディの「愛媛かんきつ部」部長・キャプテンの就任が予想以上に反響が大きく、驚きました。かくいう私もお二人の大ファンで、愛媛県庁で行われた「愛媛かんきつ部」任命式に取材に行った際には、目の前にいるお二人を見て、内心感動していました。コロナ等、暗い話題が多い昨今ですが、お二人の力強い言葉に元気をいただきました。

(純)

今月のクイズ

「愛媛みかん祭り」は今年で第何回でしょうか。
「第〇〇回」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2021年3月15日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」4-5月号で発表します。

当選者発表

12月号の答えは「愛媛かんきつ部」でした。

たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

白木 泰子さん(西条市)

戸田 享子さん(西条市)

吉木 幸さん(西条市)

越智 節美さん(今治市)

北田さおりさん(松山市)

道休 正人さん(松山市)

正 金郎さん(松山市)

松本 莉巳さん(松山市)

濱田 昭代さん(西予市)

業師神喜久代さん(西予市)

今月の素材

イチゴ



イチゴがおいしいと
スイーツはさらにおいしい



▶(右) チーズプリン、(左前) イチゴ餅、(左後) カスタードイチゴパイ

指導/愛媛調理製菓専門学校 藤田 敏子 先生

カスタードイチゴパイ

〈材料・6人分〉 ※1人あたり約232kcal

イチゴ	18個
パイ生地(市販品)	1枚(170g)
卵黄	2個分
グラニュー糖	60g
薄力粉	15g
① 牛乳	200cc
② バニラエッセンス	少々

〈作り方〉

- ① パイ生地をクッキングシートではさみ、3mm厚にめん棒でのばす。
- ② 生地はフォークで数か所穴をあけ、クッキングシートで包み、冷蔵庫に30分以上おく。
- ③ ②を6等分に切り、クッキングシートを敷いた天板に並べ、オープン200℃で約20分、きつね色になるまで焼く。
- ④ ボウルに卵黄、グラニュー糖、ふるった薄力粉の順に加え、泡だて器で混ぜ合わせる。
- ⑤ ④に少しずつ①を加えながら混ぜ合わせ、濃しながら鍋に入れる。
- ⑥ ⑤を中火にかけ、ヘラで混ぜ続け、滑らかな状態になるまで炊く。
- ⑦ ボウルに移し、表面に密着ラップをし、氷水に当てて冷ます。
- ⑧ ③を横半分にスライスし、⑦を絞り半割イチゴを並べ、残りの生地を重ねる。

イチゴ餅

〈材料・20個分〉 ※1個あたり約78kcal

イチゴ	20個
白玉粉	30g
水	150cc
薄力粉	75g
上白糖	60g
色粉(赤)	少々
あん	360g
クリームチーズ	80g
サラダ油	適量

〈作り方〉

- ① 白玉粉に少しずつ水を加え、溶きのばす。
- ② ボウルにふるった薄力粉と上白糖をよく混ぜ合わせ、①を加えながら泡だて器で混ぜ、色粉を加えて染める。
- ③ テフロン加工のフライパンを弱火で温め、薄くサラダ油を塗り、②を大さじ1程度楕円形に流す。お玉の底で薄く小判型(約7×15cm)に広げる。
- ④ 表面が乾けばフライ返しで端を起し、つまんでひっくり返し、裏面をサッと焼く。両面とも焼き色をつけない。
- ⑤ ④を冷まし、棒状のあん・クリームチーズ・半割イチゴを巻く。

チーズプリン

〈材料・5個分〉 ※1個あたり約303kcal

イチゴ	5個
ドライイチゴ	15g
クリームチーズ(常温)	70g
卵黄	2個分
① グラニュー糖	30g
② コーンスターチ	大さじ1
牛乳	50g
③ 生クリーム	170g
バニラエッセンス	少々

【イチゴソース】

イチゴ	90g
④ グラニュー糖	30g
レモン汁	少々

※容器(11×7cm、高さ3cm) 5個

〈作り方〉

- ① 4つ割りイチゴと細切れにしたドライイチゴを器に入れる。
 - ② ボウルにクリームチーズを入れ、卵黄を加え泡だて器で混ぜ、①を加え混ぜる。
 - ③ ①に少しずつ②を加え混ぜ、裏漉しし、器に流し入れる。
 - ④ 天板にお湯200ccを注ぎ、③を載せ、オープン160℃で約16分、液体が固まるまで蒸し焼きにし、常温で冷ます。
- 【イチゴソース】
- ⑤ 耐熱容器に粗切りイチゴを入れ、④を加え、ざっくりと混ぜる。電子レンジ600W約3分、途中でかき混ぜ、果肉が柔らかく果汁が出れば完成。
 - ⑥ ④のプリンに⑤をかけ、好みでホイップクリームを添える。

甘酸っぱさがやさしい
シュワッと柑橘

“ポンジュースの爽やかさ”が
味わえる大人向け炭酸飲料。
「ポンジュース特有のやさしいみかん風味」と
「ほどよい炭酸の刺激」が楽しめます。

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

化成肥料
14-14-14

正味20kg
供給 全農

肥料共同購入運動

～新たな購入方式でコスト低減を実践～

運動の取り組み内容

- ① JAグループ愛媛で肥料銘柄(一般高度化成)を集約
- ② 予約数量を積み上げ、集中生産によるコスト低減
- ③ 「くみあい肥料の品質」基準に沿った製造

ご予約・ご購入はお近くのJAへ

JA/JA全農

VOC FREE

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーのインキを使用して印刷しました。

UD FONT



「えひめの食」Instagram

Follow Me!

ehimenosyoku



あぐり～どはWEBでも読めます

<http://www.eh.zennoh.or.jp>